Ⅰ　学校経営について

学校教育目標

ふるさとを愛し、共に学び　鍛え　高め合う　綾上っ子の育成

めざす子ども像

あかるい子　やさしい子　かんがえる子　みがきあう子

研究主題

話し合いを通してよりよい未来を考える子どもの育成
～子どもが学びを『自分事』として捉える授業づくり～

重点的な取組

学びづくり	心づくり	体づくり
◎社会科を中核に据えた授業研究 ◦話し合い活動の活性化 ◦自分ごととして協働的に学ぶ ◦コミュニケーションタイムの充実 〇社会に開かれた教育課程の推進 ◦地域教材の開発 （創立 20 周年記念綾上っ子発表会） 〇図書活動の充実 ◦読書習慣の定着、電子図書の活用	◎安心して過ごせる集団づくり ◦「支え合う関係」と「ルール」のある学級づくり（QU の活用） ◦異学年によるペア・きずな活動 〇不登校傾向児童の居場所づくり ◦校内サポートルーム（KSR）の運用 〇情報モラル教育の推進 ◦ICT 支援員との連携、GIGA タイム等の充実	◎運動習慣の確立 ◦ハッピーマンデー、サーズデーは原則、まずは外に出て過ごす 〇生活習慣・食習慣の定着 ◦すくすくがんばり週間の焦点化 ◦給食を生きた教材として活用 〇危機意識を高める学校安全 ◦避難訓練、着衣泳等の取組継続

地域・家庭・学校の連携・協働

○　地域に開かれた教育課程の推進　　○　学校運営協議会・地域学校協働活動の推進
○　こども園、中学校との滑らかな連携　　○　交通安全・防犯・防災等、安心・安全の強化

働き方改革：“ 量は減らしても質は落とさない ”

〇業務の効率化・適正化　〇教職員の意識改革　〇保護者・地域との連携

綾上小学校の教職員　～受容と要求～

○　子どもの「 今 」に寄り添い受け容れる（背景をみる）
○　子どもの「未来」のために要求し続ける（譲らない指導）
○　子どもや保護者、教職員間の関係は、「相手軸」を基本に
○　全職員一人ひとりが「学校の顔」であるという意識をもって
○　笑顔を基本に、さわやかな振る舞いを